

平成親力(おやぢから)向上委員部会

**菊地哲也議長**

次に日程第2, 「一般質問」を議題といたします。

議長に「発言通告書」が提出されておりますので, 順次発言を許します。

最初に, 平成親力向上委員部会 4番 宇都宮海星女子学院中学校2年 磯田詩央里さん, 6番 宇都宮短期大学附属中学校2年 北島葵さん。

4番 磯田詩央里議員

議長, 4番

6番 北島葵議員

議長, 6番

[4番 磯田詩央里議員, 6番 北島葵議員 登壇]

4番 磯田詩央里議員



4番、宇都宮海星女子学院中学校の磯田詩央里です。「宇都宮市の家庭教育に対する取り組み」について質問いたします。

まず、私たちは宇都宮市の現状について調べました。主な取り組みとしては、学校や地域での親学講座、情報誌や家庭教育手帳の発行、地域教育力向上フォーラムなどがあります。また、生涯学習センター主催の親子教室、子育て広場、家庭教育講座、幼児と親のふれあいスクールなどもあります。生涯学習課の職員の方の話によると、これらの取り組みには参加者が多く、効果も上がっているようです。しかし、このような親になっている人たち対象の取り組みに比べ、親になる前の人たちへの取り組みには、まだ不十分な点があります。若い人たちに命の大切さや、教育が社会に果たす役割を考えてもらい、幼児虐待や、親の教育力の低下を防止する必要があるのではないのでしょうか。そこで、我々は、親になる前の人たちへの

取り組みとして、毎年約70%の参加率のある、成人式の一部に親学の講座を取り入れてはどうかと思います。しかし、職員の方や専門の方が話しても、おそらく参加者の人たちは、あまり興味をもたないと思います。そこで、参加者の興味を引くために、子どもがいる、または結婚している有名人などに協力してもらい、子育ての楽しさや心がけていることなどについてのビデオを編集し上映してはどうかと考えました。そうすれば、参加者の人たちは「有名人」ということで興味を持つと思います。あるいは、有名人などに協力してもらうのが難しい場合、当日参加している新成人の保護者に、子育ての経験談や大切なことを話してもらおうということも考えられます。こうした取り組みを通して、新たに大人になる人たちに、親になるという自覚をもってもらうことにより親学も発展していくことでしょう。

こういった点から我々は、成人式の一部に親学の講座を取り入れることを提案します。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

6番 北島葵議員

6番、宇都宮短期大学附属中学校の北島葵です。「食育を通じた親力の向上」について質問いたします。

私たちは、まず、宇都宮市の食育についての取り組みを調べました。調べた結果、食育についてのビデオ作成および、各小中学校での上映、学校へのパンフレットの配布、食育をテーマにした授業の実施など様々な学校での取り組みが行われていることが分かりました。さらに、保護者向けの研修会も行っているそうです。しかし、研修会に参加する人はまだまだ少なく、その理由としては、関心が低いことや事情があり参加できないことがあります。その他には、学校から保護者への通知を子どもが親に渡すことができなかつたり、内容がうまく伝わらなかつたりして、学校側からの一方的な情報提供になってしまっています。



そこで、私たち平成親力向上委員部会では、まず親が食育について知ることが、一番大切であると考え、2つの提案を作成いたしました。

1つ目は、小中学校で月に一度、お弁当の日を設けることです。具体的には、毎日ある給食を月に一度だけ無くし、その日をお弁当の日とすることです。そのことにより、親が月に一度でも食について考えたり、おかずを話題に子どもとのコミュニケーションをとることができたりすると共に食に対する良いしつけの場になると思います。

2つ目の提案は、仕事があって作る時間のない親や、朝食を作れない子どもたちのために簡単に作れる朝食のレシピを配布することです。現在、宇都宮市の小中学生の中で朝食をとらない子どもたちの割合は、小学生では約6%、中学生では約10%です。その原因として、朝起きられない、または、食欲が無いことが挙げられます。また、小学生は自分で朝食を作れないことや、朝食が用意されていないため朝食が食べたくても食べられない子もいます。そのため、先の提案のように短い時間で小学生でも作ることのできるレシピ、例えばコーンフレークや食パンなど手軽な食材を中心にしたものを配布することを提案します。そのことにより忙しくても簡単に作ることができ、朝食を食べられる子どもが増えると思います。

以上のことを提案することで、親も子も共に食育について知るきっかけになり、親としては親力の向上につながるのではないのでしょうか。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

高井 徹教育次長

議長，教育次長

菊地哲也議長

教育次長

〔高井 徹教育次長 登壇〕

高井 徹教育次長



子どもたちが心身ともに健やかに成長できるまち宇都宮を実現しようという気持ちにあふれた議員のご質問に、大変感銘を受けました。

それでは、磯田議員のご質問にお答えいたします。

「家庭教育に対する取り組みについて」であります。家庭、地域、学校の教育力の向上を目指した「うつのみや教育改革」の2年目である今年、特に家庭教育に力を入れているところであります。家庭教育は、基本的な生活習慣や他人に対する思いやり、社会的マナー、自制心や自律心を養う上で重要な役割を担っていることから、すべての教育の原点であると言われております。

こうしたことから、人間力の高い宮っこを育成するためには、家庭の教育力の向上が重要であると考え、特に、親自身の学び、いわ

ゆる「親学」に全市を挙げて取組もうと、市役所内に、家庭教育支援を担当する部署を設けるとともに、関係部局による「親力向上推進委員会」を設置するなど、推進体制を整備しました。

さらに、入学式や集団健康診断、保護者会など、あらゆる場や機会を捉えて「親学」を実施するとともに、学校や地域、保護者が一体となって地域の学校づくりを目指す「魅力ある学校づくり地域協議会」や幼稚園などにおける「親学」への取組に対し支援を行うなど、「親学」の推進に積極的に取組んでおります。

また、核家族化の進行により、子育ての知識が伝わりにくい現代におきましては、親だけではなく、近い将来親になる若い方々にも親になるための学びや経験の場が必要となっております。

現在、中学生や高校生が子育ての楽しさや子どもとのかかわり方を体験する「中高生と乳幼児のふれあい事業」や、小学生と幼児の交流を促進する事業を実施しているところですが、議員ご指摘のとおり、親になる前の方々を対象とした取組を充実させることは、今後ますます重要になるものと考えております。

このような中、成人式の機会を捉えて、親になる自覚をもってもらおうという大変素晴らしいご提案をいただき、ありがとうございました。

今後は、議員ご提案の「有名人」による子育て講話のビデオ上映など、若い方々の興味や関心を高める手法を研究しながら、新成人を対象としたより効果的な親学の実施に向けて、取り組んでまいります。

鈴木宗子学校担当次長

議長，学校担当次長

菊地哲也議長

学校担当次長

[鈴木宗子学校担当次長 登壇]

鈴木宗子学校担当次長

食育を通して、親の教育力向上を真剣に考えている北島議員のご提案をいただき大変心強く感じております。

それでは、「食育を通じた親力の向上について」の質問にお答えいたします。

本市においては、今年度学校教育スタンダードを作成し「基本をしっかり、あいさつ、朝食、漢字に計算」を合言葉に、朝食を摂ることについて、全ての学校で取り組み、保護者にも啓発しているところであります。

こうした中、「お弁当の日」を設けることについては、本市でも検討していたところであります。食育は、学校のみならず家庭と連携することが、とても大切であることから、保護者が成長期の子どもたちの食事に関心をもつために「お弁当の日」を導入す



ることは、意義深いものであると考えております。

今年度、栄養教諭が配置された学校における食育推進事業の一つとして、「お弁当の日」をモデル的に実施する予定ですが、その結果を踏まえ回数や実施方法等について検討し、全校に広めていきたいと考えております。

次に、「簡単な朝食のレシピの作成について」であります。昨年度、朝食を摂る必要性を理解してもらうために簡単にできる朝食メニューも含めた「食育ビデオ」を作成したところであり、学校の保護者会や授業参観等で活用しております。これからも、あらゆる機会を通して「食育ビデオ」の活用を図ってまいります。

また、本市で作成し、各学校を通して家庭に配布している食育に関する啓発紙、「もぐもぐだより」に小中学生にでも簡単にできる朝食メニューを紹介し、子どもたちが朝食を摂ることの大切さを実感できるようにしていきたいと思っております。大変貴重なご提案をありがとうございました。

なお、本市では、昨年度から実施している「うつのみや食育フェア」において「お弁当コンクール」を実施したり、学校や企業等における食育の取組みを紹介したりするなど、食育の啓発を行っているところです。今年は、11月3日、土曜日に、宇都宮市中央卸売市場で「うつのみや食育フェア」が開催されますので、中・高生の皆様も、ぜひ、足を運んでいただき食育への関心を高めてください。

菊地哲也議長

以上で、平成親力向上委員部会の質問を終わります。

